

平成26年12月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>小松 大成 議員 (一括質問)</p>	<p>1 国民健康保険税の現状と課題に対する市長の認識について 我が党がおこなった市民アンケートの回答の多くが税金に対する不満と怒りに満ちあふれた内容であった。特にも高すぎる国民健康保険税に対する怒りは相当なものである。岩手県の実態調査においても所得に対する国保税の負担率は平均17.6%になっており、その重税感は察するにあまりある。 国保世帯の国保税を安くして欲しいといった願望は切実な願いである。国保税に対する市長の認識を伺う。</p> <p>2 遠野市商工業振興条例の制定について 全国多くの自治体で中小企業商業経営者の運動もあり、商工業振興条例を制定している。 岩手県においても持続可能な経済社会を実現してゆく取り組みを進める。その為には商工業を振興することが重要である。として、商工業の振興政策をこれまで以上に総合的かつ計画的に推進してゆくために、条例を制定する。と表明した。県内では一関市が同様の条例を制定している様である。遠野市においても検討の価値があるのではないのか。</p> <p>3 生活道路整備事業の創設について 私有地でありながら日常生活に欠くことが出来ない生活道の整備を求める声がある。これまで当局としては個別資産に対する助成は出来ないといった対応と思われたが、他自治体では私有地であっても公共的に利用されている道路などに助成している現実がある。遠野市でも実施するべきと思うがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>萩野 幸弘 議員 (一問一答)</p>	<p>1 本庁舎建設の進捗状況とまちづくり対策について 市役所本庁舎は、中心市街地の活性化も視野に入れた事業であり、平成29年度の供用開始に向け準備中と思われるが、ハード・ソフト両面における事業の進捗状況と今後の見通しや具体的な対策等についてお伺いしたい。また、市内各町の均衡ある発展も同時進行で進めるべきと思うが、その点におけるご見解や具体的な対策の有無等についてお伺いしたい。</p> <p>2 若者定住対策について 人口減少社会の中にあって、若者の定住化は自治体存続の重要な要素と解する。特にも仕事や住宅等における環境整備が急務と思うが、考え方や具体的な対策等についてお伺いしたい。</p> <p>3 空き家対策について 市内には居住可能な空き家が増加していると解するが、現状を把握されているか。また、景観や人口減少対策等、廃屋も含めた空き家対策が必要と思うが、ご見解や具体的な対策等についてお伺いしたい。</p> <p>4 一人暮らし世帯の実情と対策について 一人暮らし世帯のうち、特にも高齢者世帯の件数や生活実態を把握しているか。また、安心安全な暮らしのために、どのような施策を講じているか等についてお伺いしたい。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>細川 幸男 議員 (一括質問)</p>	<p>1 東日本大震災に伴う後方支援について 支援物資の分類について</p> <p>2 新規就農給付金について 農林水産省 青年就農給付金の状況について</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

<p>菊池 美也 議員 (一括質問)</p>	<p>1 働くママ、お母さんの就業体制の改善について 生む世代・子育て世代の働く女性が、第1子を出産し、更に第2子、第3子をもうけたいと考えるには、パートナーである夫の協力はもちろんのこと、職場の同僚の理解、そして所得の保障や休日を取得しやすい等、就業体制の改善が不可欠である。 子育てに協力的な企業が増加するような、就業体制改善をするべく事業が市に求められるが、見解を伺う。</p> <p>2 常勤産婦人科医不在の解消と出産設備の整備について 本来的には、市内に産婦人科医が常勤し、そして、高度な出産設備・産科病棟が備わっていることが望まれる。 積年のテーマである、より安全な出産を確保するための産婦人科医不在の解消と、出産施設の整備についての今後の取り組みについて伺う。</p> <p>3 平和教育の必要性について 来年、戦後70年という節目を迎えることについて、市長の思いを、そして、未来を担う子ども達への平和教育のあり方、必要性についての考えを伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>小林 立栄 議員 (一括質問)</p>	<p>1 子育て支援の充実について (1) 子育て家庭の負担軽減を図るため、妊婦や子育て世帯に支援カードを配布し、買い物や施設利用時に料金割引や特典を受ける優遇サービスを行うべきと考えるが、市長の考えを伺う。 (2) 子育てバリアフリー（妊婦や乳幼児を連れた方が、安心安全に移動したり、施設を利用できる環境）を進め、親子が地域の方と交流できる簡易な施設を市内各所に整備をして、「子育てするなら遠野」らしい地域づくりに取り組むべきと考えるが、市長の考えを伺う。 (3) 子連れ（特に乳幼児）旅行者の受け入れ態勢（設備とサービス）を充実させ、子育て世代の交流人口の拡大をはかり、「子育てするなら遠野」をPRするべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>2 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した市政情報の発信について 遠野市として、情報通信技術であるフェイスブック等のSNSを利活用して、行政と市民あるいは市民と市民で双方向のやり取りができないものか、SNSの利活用の有効性について、市長の見解を伺う。</p> <p>3 AED（自動体外式除細動器）の設置場所と設置方法について AEDを夜間や休日でも有効に使用できるように、市内の宿泊施設やコンビニエンスストア、タクシー会社など、民間事業者と協定を結び、市民の命を守る取り組みを求めるが、市長の考えを伺う。</p> <p>4 雑誌スポンサー制度の導入について 図書購入費の新たな財源の確保となる雑誌スポンサー制度を導入して、図書の購入など市民サービスの向上に取り組むべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>5 学校教育における環境教育の取り組みについて 様々な学習活動を通して、子供たちが環境保全に必要な知識や技能、自然を大切にする心を持つことが大切であり、ESD（持続可能な開発のための教育）で目指している持続可能な社会を創り出す力を育むことと密接に関わっていると考える。今後の学校での環境教育をどのように取組まれていくのか、教育長の考えを伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p>

<p>瀧本 孝一 議員 (一括質問)</p>	<p>1 市民歌のあり方について 合併後 10 年目に入っているが、遠野市民歌は市民の多くが覚えづらく難しいと感じ、愛唱され浸透しているとは言い難い。検証の必要性はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民歌の意義をどう考えるか。 ・愛唱され、浸透していると思われるか。 ・浸透させ、愛唱される市民歌にするための方策は。 ・歌いやすい第 2 市民歌的なものをつくる考えは。 ・市民に意見等を聴取し、検証の必要性はないか。 <p>2 地域おこし協力隊の受け入れ活用の考えについて 現在、市では地球緑化センターから「緑のふるさと協力隊」を受け入れ地域活性化のために農作業や各種イベントへの参加など、多方面にわたり活動を展開しているが、これに加え総務省事業の「地域おこし協力隊」を受け入れ、地区センター等へ配置して更なる活動の相乗効果を図り、移住・定住に結び付けていく考えはないか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>菊池巳喜男 議員 (一問一答)</p>	<p>1 遠野ハートフルプランの現状と今後の計画について (1) ハートフルプラン 2012 は、今年度が最終年度となるが、この 3 年間の推進状況はどのように把握するか。 (2) 平成 27 年度から新たに 3 年間でスタートする、ハートフルプラン 2015 の重点的施策は何か。 (3) 策定にあたって市民の意見や提言はどのようなものがあり、どのようにプランに反映して行くのか。 (4) 介護サービス基盤の今後の整備計画はどのように考えているのか。</p> <p>2 平成 26 年遠野市教育行政の取組みについて (1) 平成 26 年度から策定した「子育てするなら遠野市構想」の一翼を担う教育行政の面で、教育全体における総合的な環境の取組状況はどのような組織体制で展開されてきたのか。 (2) 遠野市教育振興基本計画に沿った、平成 26 年度施策の進捗状況は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育の充実について ・学校教育の充実について ・社会教育の充実について ・スポーツの振興について ・文化財の保存と継承について 	<p>市 長</p> <p>教育長</p>
<p>浅沼 幸雄 議員 (一問一答)</p>	<p>1 子育て支援について 子育て支援については、当市では現在でも県下で進んでいる方であると認識しているが、少子化対策の一環として更なる支援の充実を図る必要があると考えるが、市長の考えを伺う。</p>	<p>市 長</p>